



おびただしい数の
施設内の食器。

あじけん通信 vol.14



2009年 3月発行
発行所：TBC国際外語学院
企画・編集：水沼 正芳

幾分、暖かく感じる日も増えてきましたが、まだまだ寒い日が続いていますね。

春の訪れを間近に感じていた矢先、突然の積雪に見舞われたりと変わりやすい天気に一喜一憂している今日この頃です。その代わりといっは何ですが、花粉の飛散量はもうまさに春そのもの！毎年この時期は職員のマスク着用率が激増します。私自身も昔に比べ、症状はやや軽くなってきましたが、でもやっぱり花粉症というのは辛いものです。

さて、そんな時期ではありますが、ここアジア研修センターでは毎日元気に研修生の皆さんが日本語の学習に取り組んでいます。季節の変わり目は体調を崩しやすい時期ですので、きちんと健康管理をしながら頑張ってくださいと、常々思っています。

施設内を見渡してみると、梅の開花や木々の芽吹きに気付かされます。もうすぐやって来る春を心待ちにしながら、この寒さをもう少し辛抱していきましょう。

生活支援 topics vol. ~ 『黄色は急げ』じゃありません！！ 交通安全講習の巻 ~

当学院での集合研修実施期間中に、各団体様主催の各種講習会が実施されます。日本で生活していく上での様々な諸注意について、事例を挙げながら研修生の皆さんに理解してもらい取り組みがされています。その中のひとつに、公的な支援の観点から、小山警察署 交通総務課の皆様のご協力を頂き、交通安全に関しての講習会を開催させて頂いております。主にアジア圏の交通ルールというのは、どの国も大筋では似ているようですが、細かい相違点があるため、研修生の皆さんは皆真剣に講話に聞き入っています。中でも飲酒運転の罰則金や刑罰・凄惨な事故の様子等の話を聞いた時の皆さんの顔がとても印象に残っています。それから、ここ数年、研修生を含む外国人の方の自転車による事故が増えているということで、かなりの時間を割いて自転車乗車時のマナーやルールに関する講話があります。子供の頃、自転車を手にした事によって行動範囲が随分と広がり、どこまでへも行けるような気持ちになった事を思い出しますが、自転車に跨った研修生の皆さんの実際の行動範囲はその比ではありません。正しいルールや知識を身につけ、安全運転を心掛けて頂きたいですね。

当日は当学院の職員が通訳として立ち会い、講話の内容がより正確に伝わり、研修生の皆さんにきちんと理解をしてもらえるよう、お手伝いをさせて頂いております。

交通事故で、毎年何名もの研修生の皆さんが亡くなっているという話を耳にします。ここで学習した事を実際の暮らしに役立て、3年間という期間を無事に過ごし、それぞれの家族が待つ故郷に帰って行ってほしい。そう願ってやみません。



時にはユーモアを交えつつ、分かり易い講義をして下さる小山警察署の皆さん

事故の多い交差点での注意

熱心に耳を傾ける研修生の皆さん